

第六回

上手な医療の かかり方アワード



受賞プロジェクト 事例のご紹介

厚生労働大臣賞 最優秀賞

厚生労働省 医政局長賞

上手な医療のかかり方プロジェクトに関するお問い合わせ先
info@mail.kakarikata.mhlw.go.jp

詳しくは上手な医療のかかり方公式サイトをご覧ください。
<https://kakarikata.mhlw.go.jp/>

「上手な医療のかかり方プロジェクト」とは

昨今、医療の危機と現場の状況は深刻なものとなっており、
 「いのちをまもること」と同時に「医療をまもること」は、
 私たち一人ひとりがきちんと向き合い、考えていかなければならない喫緊の課題です。
 「上手な医療のかかり方プロジェクト」は、そのような背景のもと、
 すべての国民とその健康、また日夜力を尽くしている医師・医療従事者のために
 始動したもので、国、自治体、医療機関、民間企業、市民社会など、医療に関わり、
 恩恵を被る「すべての人」が考え、参加し、行動すべき国民的プロジェクトです。

診る人も、人。 その働き方にご協力ください。

将来にわたって適切な医療体制を維持していくために
 上手な医療のかかり方を。



休日・夜間の
子供の症状は
#8000



病院へ行く？
救急車を呼ぶ？
迷ったら
#7119



医療機関・薬局を
カンタン検索！
医療情報ネット
(ナビイ)



気軽に相談できる
かかりつけ医をもちましょう



夜間や休日診療、救急車は
重篤な急患のためにあります

“上手な医療のかかり方”大使のご紹介



俳優
川栄李奈

1995年生まれ、神奈川出身。
 2022年には、NHK連続テレビ小説『カムカムエヴリバディ』で主演を務めた。
 2024年の今年、地上波GP帯初主演作となるドラマ「となりのナースエイド」
 (NTV)、ヒロインとして出演し、興行収入50億円を突破し大ヒットとなった映画
 『変な家』や、映画『ディア・ファミリー』、そして先日ロンドンで大千鶴楽を迎え
 た「千と千尋の神隠し」に主人公千尋役として出演するなど、活動の幅を広げている。

公式ウェブサイト：<https://rina-kawaei.com/>

上手な医療のかかり方アワードについて

厚生労働省では平成30年度に「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」を開催し、
 その懇談会において「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクト宣言！が為されました。
 これを踏まえ、保険者・医療機関・企業・各種団体・自治体等において、
 上手な医療のかかり方の啓発などの優れた取組や、医師などの医療従事者の負担軽減に向けた優れた取組、
 並びに若年層に対する医療受診の教育に関して優れた取組を行っている企業や団体を厚生労働省が表彰し、
 その理念や取組内容などを広く発信することで、
 国民の医療のかかり方に関する理解を深め、取組主体の意識を高めることを目的としています。

取り組み募集アクション

- (1) 患者・家族の不安を解消する取組を最優先で実施している。/ (2) 医療の現場が危機である現状を国民に広く共有している。
- (3) 緊急時の相談電話やサイトを導入・周知・活用している。/ (4) 信頼できる医療情報を見やすくまとめて提供している。
- (5) チーム医療を徹底し、患者・家族の相談体制を確立している。/ (1)～(5)複数項目に関連する取組を実施している。

実施概要

主催	厚生労働省(上手な医療のかかり方プロジェクト)
実施期間	<応募受付>令和6年10月1日(火)～12月20日(金) <表彰発表>令和7年3月14日(金)
募集対象	(1)企業・保険者：一般企業、市町村国保、国保組合、協会けんぽ、組合健保、共済組合 (2)医療関係者：病院、診療所、医師会・病院団体等の関連団体 (3)民間団体：市民団体等 (4)自治体：都道府県、市町村 ※自社の事業・製品サービスの告知を中心とする応募は対象外。
表彰	●厚生労働大臣賞 最優秀賞 (1件) ●厚生労働省医政局長賞 (2件) ・1件：上手な医療のかかり方における総合的な制度設計が優秀な取組 ・1件：上手な医療のかかり方における優良なコンテンツの作成やナッジ等の取組 *ナッジとは行動科学の知見から、自発的に望ましい行動をとれるように人を後押しするアプローチの事

第六回「上手な医療のかかり方アワード」(令和6年度)審査委員

審査委員長

秋山 正子
 認定NPO法人 マギーズ東京 共同代表理事 / マギーズ東京 センター長
 株式会社 ケアーズ 代表取締役 / 白十字訪問看護ステーション 統括所長
 NPO法人 白十字在宅ボランティアの会 理事長 / 暮らしの保健室 室長

審査委員

阿真 京子 子どもと医療 主宰
 斐 英洙 慶應義塾大学 特任教授
 坪口 創太 厚生労働省医政局総務課医療政策企画官(大臣官房情報化担当参事官室併任)



上手な医療のかかり方アワード審査委員長

秋山 正子

新興感染症が勢いを弱め一息つきそうなところに、地震や異常気象等の災害が多かった中で、医療現場の多忙さ、専門職人材の偏在など、解決を迫られる課題が山積しています。

そのような中で、日頃からの地域・職域への啓発活動を続けてきた成果をアワードに向けて纏め、ご応募いただきました。応募されたすべての皆様に対して、その努力に心からの敬意を表し、エールを送りたいと思います。

今回は21件の応募がありました。この内9件が医療関係者と数が多く、次いで企業・保険者6件、民間団体4件、自治体2件という内訳でした。審査委員それぞれがしっかりと内容を読み込み、熱心に討議を重ね最優秀賞、優秀賞を選考しました。

最優秀賞に選ばれた横浜市立大学医学部YDCが取り組んだ「横浜市民に向けた医療についての啓発活動」は、体験型の取り組みを基本としながら、関わる医学部生や看護学部生の若い世代が小中学校への訪問授業などを途切れることなく10年以上にわたって取り組んできたことが高く評価されました。コロナ禍の中でも動画制作に取り組んだり持続可能な方法の工夫や、子供から高齢者までわかりやすい資料作りも今後は他の地域の参考になる事でしょう。また学生たちのボランティア活動としても評価できると着目されました。

優秀賞のうち自治体部門からの兵庫県豊岡保健所の取り組みは、そのタイトルにある「市民が参画した医療計画を作ろうー概要版を全戸配布する試みー」に示されるとおり、医師不足医療資源不足の地域のこれからの住民も巻き込んで、共に考えようという取り組みで、全国各地の医療過疎地域での計画策定時に、おおいに参考になる内容と評価されました。

第1回の上手な医療のかかり方アワードでチラシ部門特別賞をもらっているパナソニック健康保険組合が第6回にも挑戦。今回は「パナソニック健保流 医療サポートー施策の連打で実現する健康社会ー」と謳い、大規模健保組合ならではの思い切った個別のアクションが、これまでの策を打開する行動変容に繋がられる思い切った内容で、数的データをきちんと活用している点等評価されました。

そのほか薬局窓口の取り組み、災害時の透析情報の共有ツールの開発と運用など様々な取り組みもあり内容を十分に吟味しながらの選考となりました。

改めて受賞された団体、事業者の皆様へ心からの「おめでとうございます」を送ります。

厚生労働大臣賞 最優秀賞

p.05 横浜市民に向けた医療についての啓発活動

横浜市立大学医学部YDC

厚生労働省 医政局長賞

上手な医療のかかり方における総合的な制度設計が優秀な取組

p.07 市民が参画した医療計画を作ろう ー概要版を全戸配布する試みー

兵庫県 豊岡保健所

上手な医療のかかり方における優良なコンテンツの作成やナッジ等の取組

p.09 パナソニック健保流 医療サポート ー施策の連打で実現する健康社会ー

パナソニック健康保険組合



厚生労働大臣賞
最優秀賞

プロジェクト

横浜市民に向けた医療についての啓発活動

受賞者

横浜市立大学医学部YDC

所在地 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9 メールアドレス ycu.ydc2@gmail.com
URL <https://www.instagram.com/yokoichi.ydc2019/profilecard/?igsh=MzRzZXVrdGg5b2Rl>



取組の経緯

正しく理解し、不適切な医療利用を減らす

横浜市立大学医学部YDCは、横浜市立大学医学科・看護学科の学生からなる団体です。医療について知りたいという横浜市民のニーズを背景に、2010年の設立以来10年以上にわたって医療教育を行ってきました。

横浜市において市民の医療への関心は高く、市民アンケートでも横浜市政への要望の上位に「病院や救急医療など地域医療の充実」が入っています。しかし、今まで一般の方が医療について学ぶ機会はほとんどありませんでした。そこで私たちは、全ての人に、継続的に、医療について学んでもらうために、小中学校での授業を行おうと考え、この活動を始めました。

正しい医療知識を普段の生活に生かしたり、不適切な医療利用による医療崩壊を防いだりすることを目的に活動しています。



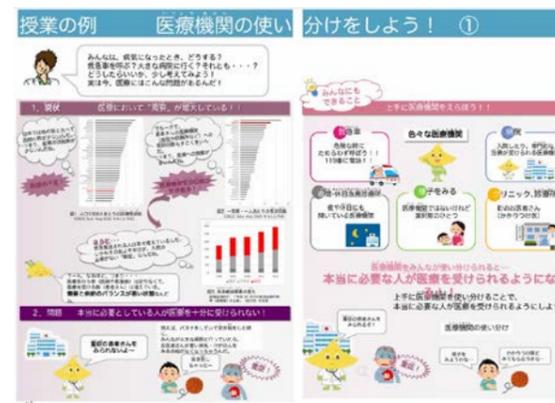
事業の概要と特徴

体験型の授業で楽しく学び、実際に使える知識に

小中学校への訪問授業、オープンスペースを利用した医療体験教室、大学での公開講座、金沢消防署との合同イベントなどを行っています。内容は、横浜市の医療の現状、医療機関の使い分け、感染症、熱中症、BLS(Basic Life Support)など多岐にわたります。

特徴は体験型の授業であることで、実際に人形に胸骨圧迫をしたり訓練用AEDを使ったりします。また、グループワークや問いかけも行います。

このような医学に関する授業や体験に加え、私たち医学部生がなぜ医療関係の道を選んだのか、についてお話しするキャリア教育にも取り組んでいます。限られた時間で行われる授業ではどうしても伝えきれない内容が出てしまうので、授業後にはパンフレットを配布しています。YDCが特に市民の方々に知ってほしいと考えている、医療機関の使い分けについて説明し、#7119などの情報も記載しています。



医療のかけ方を変えていくポイント

医療資源の適正利用や簡単な医療知識・技術を学んでいただく

横浜市の小中学生や市民の方々に、医療資源の適正利用や比較的簡単な医療知識・技術を学んでいただくため、主に以下の授業や情報提供を実施しています。

- 熱中症で倒れてる人や怪我をしている人がいたら、どのように応急処置をしたら良いのかなど、具体的な状況を設定した授業
- 救急車の適正使用につなげるため、どのような症状があれば救急車を呼ぶべきか、呼ばないべきかを考える授業
- 医療需要の増加や2024年度より始まった医師の働き方改革により、逼迫している医療現場の現状に対する理解を深める授業
- 災害時の怪我・病気や避難所での感染対策など、いざという時に必要な情報の提供
- 授業内容は医師である大学の先生方に校正してもらった正しい情報を、イラストなどを多く用いて分かりやすく情報提供



厚生労働省 医政局長賞

プロジェクト

市民が参画した医療計画を作ろう

一概要版を全戸配布する試み一

受賞者

兵庫県 豊岡保健所

所在地 兵庫県豊岡市幸町7-11 電話 080-2447-1780

メールアドレス Youichi_Morimoto@pref.hyogo.lg.jp

URL https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk06/tajimairyoukeikaku.html



周産期医療

産婦人科の先生と助産師さんに聞いてみた

産婦人科の先生と助産師さんに聞いてみた

産婦人科の先生と助産師さんに聞いてみた



小児医療

子どもの具合が悪くなったらどうしよう

子どもの具合が悪くなったらどうしよう

子どもの具合が悪くなったらどうしよう



教えて！ドクター

教えて！ドクター

教えて！ドクター

取組の経緯

市民が担う但馬の医療計画

本プロジェクトは、兵庫県第8次医療計画(圏域計画)を作成するにあたって、住民の参加を促した複合的なプロジェクトです。兵庫県では、保健所が主体となって、地域医療構想調整会議を運営しています。令和5年の調整会議では1年間かけて、全5回の会議を行い、医療計画を策定しました。医療計画の圏域計画を市民、全行政、全医師会、全病院が入った形でロジックモデルを活用し、作成しています。

5疾病6事業+在宅医療、医師確保のうち、但馬圏域において重要な10事業を任意に抽出し、作成しました。ロジックモデルとは、ある施策がその目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係を明示したものであり、ツリー状に表します。ロジックモデルの取り組みの中には、医療を守るため市民が担うことができる行動も対策案として書き込んでいます。

ただ医療計画自体が、多くの市民に知られていないという課題がありました。但馬の医療の現状と課題を知ってもらい、それに対してどのような対策が行われているか、対策案のうち自分たちができることはなにか知ってもらうことを目的に、R6年3月に医療計画の概要版を作成し、圏域内に約6万世帯の全戸配布をしました。

事業の概要と特徴

「やさしい医療計画」で広がる住民の行動力

概要版は、全12ページあり、デザイナーにも入ってもらい、できる限り住民にわかりやすいようなコミュニケーションを心がけました。誰でもわかるという意味を込めて、「やさしい医療計画」と呼称しました。ロジックモデルを簡易化し記載しているほか、事業ごとに関係者である周産期医療センターの医師や助産師、在宅医療を担う医師などにインタビューなどを実施し、医療の現状や対策案の肌感を語ってもらっています。

また市民にもできることをいくつか記載しています。ACP(人生会議)を行うことで、在宅医療や救急医療を守ることもつながること、周産期において日常的にかかる外来といざというときの入院を医療機関ごとに使い分けことが周産期体制を守ることにつながること、可能な限りの日中受診やいざというときのために自分の周りの休日・夜間に受診できる医療機関を見つけておくことが救急医療を守ることなどを記載しています。

他にも#8000や教えて！ドクター!といった受診の前に確認するアプリを紹介し、それらを使うことが適切な受診につながり、医療を守ることも記載しています。ロジックモデルに基づいて、自分たちが行動することで医療を作っていく担い手になることがわかるようにデザインを心がけました。最後のページにはこれらを家族や医療者、ご近所と読んで、感想を話し合い、自分たちにできることを書いてもらえるように記載欄を設けています。

医療のかかり方を変えていくポイント

策定した医療計画についてどのように住民に認知していただくか

前述のとおり様々な関係者に参加いただき、ロジックモデルを活用して医療計画を策定しており、この医療計画には、医療を守るため市民が担うことができる行動も対策案として書き込んであります。

しかし、医療計画自体が住民に知られていないという課題があったため、その課題を解決するために策定した医療計画自体を住民の皆様を知っていただくことが大切だと考え、「やさしい医療計画」を作成しました。

「やさしい医療計画」についてはわかりやすい内容にすることを心がけ、全戸配布することに留まらず「やさしい医療計画」には住民向けアンケートフォームを記載し、内容について意見をもらい、評価を行っております。

住民向けアンケートを分析すると、医療計画を読んだことがない者が6割以上であり、この「やさしい医療計画」を通じて初めて読んだことがあったことから課題設定が適切であったことがわかりました。また、「やさしい医療計画」の満足度は10点満点中8.0点であり、「やさしい医療計画」を通じて、市民の不安の解消や医療体制の理解に繋がったと考えております。

今後も医療のかかり方を変えるためには、今回の分析結果も加味しながら事前に課題設定すること実施した施策の分析を行い、PDCAを回すことで取組を進め、住民の認知を向上させていきたいと考えています。



厚生労働省 医政局長賞

プロジェクト

パナソニック健保流 医療サポート ～施策の連打で実現する健康社会～

受賞者

パナソニック健康保険組合

所在地 大阪府守口市外島町5-55 電話 06-6992-5138
メールアドレス baba.shigeyuki@jp.panasonic.com
URL <https://phio.panasonic.co.jp/hoken/guide/torikumi/index.html>

健康保険組合が保有するレセプトデータを活用し、独自の医療支援を実施



私たちは、加入者の皆様に対し、心を込めて医療支援を提供させていただいております

取組の経緯

健保組合ならではのお役立ち事業

～レセプトデータを活用したお役立ち系の組織化～

パナソニック健康保険組合の加入者数は27万人であり、特定健康保険組合を有しているため、65歳以上75歳未満の加入者が比較的多いという特徴があります。

2018年にレセプトデータを活用したお役立ち係を立ち上げ、加入者からのお薬相談を担当する薬剤師、第三者行為業務を担当する損害保険会社のOB、療養費の適切な受療促進を担う柔道整復師、そしてデータサイエンティストが協力し、加入者に応じた有益な情報提供と効果検証を行っています。

特に、近年はポリファーマシー通知に力を入れています。メンタル疾患を抱える患者様にも「健保組合はあなたを心配しています」という思いが伝わるよう、定期的に多剤投与や重複投与に関する通知をお送りしています。また、時間外受診や頻回受診、はしご受診を行う方々には、医療費の割増加算に関する情報を提供し、健康への薬物有害事象のリスクや残薬問題の解消についても継続して取り組んでいます。

これらの取り組みは、ホームページに随時掲載することで、加入者全体の健康リテラシー向上と医療現場の負担軽減に繋がるものと考えています。

事業の概要と特徴

レセプトデータを活用した独自の医療支援

(2024年度の主な取り組み)

- ◎ 時間外/頻回/はしご/多剤重複投与に関するお知らせ・・・約12,000件
[効果見込] 行動変容率:72%、医療費削減効果額:70百万円
- 長期取載品にかかる選定療養費のお知らせ通知・・・約5,000件×2回
- OTC医薬品に代替可能な方へのセルフメディケーション通知・・・約10,000件
- 柔整療養費請求にかかる頻回通知・・・約800件
- 柔整療養費における償還払い制度導入通知・・・約10,000件(2023年度)
- 第三者行為にかかる健康保険適用支援

(特徴)

- ◎ 専門職(薬剤師や柔道整復師、損害保険会社OB)が相談窓口となり加入者の不安を解消しています
- 家庭用常備薬を推奨し、2次元コードを用いて比較的安価な医薬品購入サイトに連携
- 第三者行為のオリジナル動画を作成し、複雑な書類作成をサポート(ホームページに掲載)

通知の内容



医療のかかり方を変えていくポイント

特にお薬にかかる施策を連打し、「上手な医療のかかり方」を促進

加入者への通知物

医師や薬剤師に、気軽にご相談いただける内容を意識して作成しています

Ex.セルフメディケーション通知



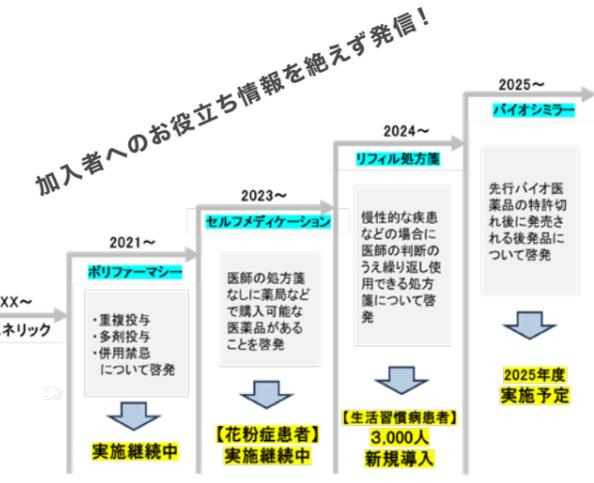
ホームページ

パナソニック健保の取組や検証結果を数値で紹介



加入者ポータルサイト

医療費情報・給付金情報・処方履歴情報をメールにてお届け



2025年度実施予定